

## 6月のテキゴト

### 6月21日 さかどの宝 井戸みず -おいしい水の源-

今日は第2回目の開催になる地下水の講座です。梅雨に入り、朝からしっとりした雨降りでしたが、12名の参加があり、ボランティアの方も5名参加され、にぎやかな講座になりました。小学4年生10名、5年生1名、父兄1名、内、女子が7名です。

講座のテーマ、井戸ですが、井戸を知っているか聞いてみると1人しか知りませんでした。もう井戸は過去のものですね。

まずは、東京と坂戸の水道水、瀧不動の湧水の飲み比べをしました。6名が当てました。さすがに坂戸の水道水を間違える人は少なく、子供の味覚は確かなようです。続いて、湧水の見学です。

いずみの近くの橋のたもとに橋の建設時から湧水が湧いており、実際さわってとてもきれいで、冷たいことを実感できました。

川の水が20度、湧水は18度でした。

湧水が美味しい理由、水道水がどこからきているのかを勉強しました。

次に、美味しい湧水の源、地下水が貯められている地層の勉強です。実際に、瀧不動の近くの露頭から砂礫を持ってきて、石の種類を見たり、小さな水槽に砂礫をいれて、模擬帯水層を作り、水を入れてみました。みんな楽しそうに砂礫をいっじっていました。砂礫層の中の地下水の動きや砂礫の中にどの程度の水を含むことができるのかを確かめました。砂礫に混じって沢ガニの子供を取ってしまったようで、みんなに挨拶をしてもらいました(講座が終わって住みかに戻りました。)

最後に、高麗川の源流から坂戸までの地形、砂礫を形成する段丘の分布を見て、まとめとして、地下水を守るために何をしたらよいかを話しました。瀧不動を知らない子供達ばかりでしたが、行ってみたいといってくれました。

いずみでは7月に水フォーラムを開催します。坂戸の自然が豊かなこと、高麗川がきれいな理由は、湧水に広がる地下水の存在を知り、だいじにするきっかけになればと思います。(Y. I)



### 6月23日(火) 勝呂小がリサイクルキャンドル作りといずみ見学

毎年、市内小学校の4年生が、いずみに来館し、学校給食や家庭の廃食油を使ったリサイクルキャンドルづくりに挑戦しています。今年最初の学校は勝呂小4年生の58名です。子どもたちはキャンドルづくりと環境学習とに分れ、いずみの館内を体感します。キャンドルづくりの班は、各自持参したグラスを手に、職員の説明を聞き、軍手とキャンドルに色をつけるクレヨン好きな色を選んで作業室へ。いよいよキャンドルづくりです。

作り方は…

- ①アルミカップにあらかじめ温めておいた廃食油(ろ過して異物のない油)を入れ、ホットプレートでさらに80℃～90℃に加熱して、クレヨンをいれ、よくかき混ぜて溶かす。
- ②①に油処理剤(家庭でも使う油を固めるもの)を半袋位入れて、かき混ぜて溶かす。
- ③完全に溶けたら、ホットプレートから下ろして持参したグラスに流しこむ。
- ④あらかじめ油を染みこませたタコ糸を割りばしにはさみグラスの上に乗せてタコ糸をたらす。
- ⑤常温で数時間冷まして出来上がり!

1グループ5名、子どもたちは高温のホットプレートを囲んで、興味津々!ボランティアや職員のサポートにしながら、赤や緑、青、黄色、ピンク、紫など思い思いのクレヨンで染めた油をグラスに入れ(やけどをしないようにボランティア、職員が入れる)タコ糸をたらして作業は終了です。出来上がったリサイクルキャンドルは固まってから、学校へ届けられました。

高温の油を使うため、事故のないようボランティアは細心の注意を払いながらのサポートです。

子どもたちは廃食油が、きれいな色のキャンドルに変身していく過程を驚きをもって体験していました。(T. E)

